

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	2-2	
PDCA	主要事業名		職員給与と福利厚生事業		部課名		企画部人事課		担当		竹内	
										内線	222	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 3 - 1 単位施策： 行政運営											
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 15,175 千円											
	会計		一般会計				歳出科目： 02.01.01.11.01					
	事業概要等		事業概要：		職員の健康保持と安全で快適な職場づくりのために、健康診断や予防接種、職場巡視、安全衛生委員会の開催、職員互助会への交付金等を実施する。							
			事業目的：		労働安全衛生法等に基づき、職員の安全と健康を保持する。							
			事業内容：		健康診断及びストレスチェック、予防接種、職員互助会交付金等							
			問題点・課題等：		公務災害・労働災害及び病気休職職員の発生							
	予算額		主要事業とする理由									
	15,175 千円		職員が仕事をするうえで基本となる、健康と安全を確保するとともに、快適な職場環境の形成に資する事業であるため。									
	財源内訳											
	市費		得られる成果									
	14,143 千円		職員の健康と安全な職場づくりに努め、公務災害・通勤災害や病気休職者の減少につなげる。									
	国費											
	0 千円		目標値や目指すべき状態									
	県費		0 千円		令和2年度		令和3年度		令和4年度		単位	
			公務災害・労働災害申請件数		実績値		28.0		12.0		— 件	
					目標値		10.0		10.0		10.0 件	
			精神疾患による病気休職職員数		実績値		10.0		11.0		— 人	
	その他				目標値		5.0		5.0		5.0 人	
1,032 千円			実績値									
		目標値										
D 実績値	決算額		得られた成果									
	14,352 千円		公務中の大きな事故や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う職場クラスターが発生することなく、職員の健康確保と安全な職場づくりに寄与した。									
	成果指標						令和4年度		単位			
	①公務災害・労働災害申請件数						実績値		11.0 件			
							目標値		10.0 件			
	②精神疾患による病気休職職員数						実績値		20 人			
							目標値		5 人			
C 課題の整理	事業の評価・課題		D 公務中の事故の未然防止に向けて啓発活動や職場巡視を実施した結果、申請件数は前年度比で1件減少したものの、目標値を1件上回ってしまった。11件中4件が職場の環境や作業体制に問題があった事例であり、未然防止に向けて改善の余地がある。 精神疾患による病気休職者数においては、ストレスチェックの実施、メンタルヘルス相談事業等を行ったものの、前年度比で9人増加してしまった。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、社会情勢の変化に合わせ、職員感染対応マニュアルの修正などを行いつつ、職場クラスターを発生させないよう努めた。									
	A 課題後の決方向性		改善推進 2つの成果指標はともに目標値を達成できなかった。特に精神疾患による病気休職者数は、全国的な傾向であるものの前年度よりかなり悪化しており、職場のコミュニケーションの活性化を促す取組等に加え、メンタル不調に対して、本人の早めの気づき・対策ができるようセルフケアの推進を図る。									
観点別評価		必要性		有効性				効率性				
		①市の関与の妥当性 妥当		④上位施策への貢献 —				⑦コスト削減 ない				
		②市民ニーズ —		⑤成果向上の余地 ある				余 地				
		③休廃止の影響 大きい		⑥類似事業の有無 ある				⑧受益者負担適正化余地 ある				

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用